



慶應義塾大学ビジネス・スクール

インター・メタル・コーポレーション

5

Inter Metal Corporation(略称 IMC)は日本の自動車部品メーカー2社がケンタッキー州で経営している合弁会社である。日本親会社の1社は昭真メタル株式会社(略称 SMC)で日本の自動車メーカー、アジアモータースを主取引先とする有力板金部品メーカーである。もう1社は大塔ギア株式会社(略称 DGC)で、SMCと同様にアジアモータースに長年エンジン部品を納入している。アジアモータースのケンタッキー工場敷地内に合弁部品会社を設立し、自動車工場と殆ど同期生産をして部品供給をするようにとの要請を受けて2007年4月に操業を開始した。

10

要請を受けた時点では両社とも社内での反対意見が強く、調整に時間がかかったが、アジアモータースからの再々の要請を断り切れず、両社トップの決断でなんとか合弁事業が成立したという経緯がある。

15

反対意見として代表的なものは下記のようなものであった。

1. 両社は板金とギアという異なる業種で、今まで殆ど業務上の関係が無かった。

20

SMCはもともとアジアモータースに勤務していた技術者数人がスピンアウトして設立した会社であるがDGCは大塔ファミリーが経営する典型的同族会社で、企業文化も全く異なる。(DGCはSMCに比して売上高、従業員数は半分程度であり、対等出資の合弁会社とはいえない、SMCに牛耳られるのではないかという危惧がDGC側にあったのも事実である)

25

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究教授網野俊賢が、授業における討論のために作成したもので、経営の巧拙を論じるものではない。社名は偽装されている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 網野俊賢 (2010年4月作成)